

多様な企業の集積



【明野エリア】

- ① 中央電子工業 山梨工場
- ② 富士工器 山梨工場
- ③ 村上農園 山梨北杜生産センター
- ④ 九州屋ファーム
- ⑤ アグリマインド

【須玉エリア】

- ⑥ ミラプロ
- ⑦ 東和エレベーター
- ⑧ 日本電産トーソク 山梨工場
- ⑨ 桂精機製作所 山梨工場
- ⑩ ケミックス 山梨試験センター

【高根エリア】

- ⑪ 環境保全研究所
- ⑫ 相川プレス工業 高根工場

【長坂エリア】

- ⑬ HOYA(株) 長坂事業所
- ⑭ (株)キッツ 長坂工場
- ⑮ 和興製作所
- ⑯ 滝口製作所 山梨工場
- ⑰ 山梨住宅工業
- ⑱ 清水製作所
- ⑲ 日水製薬(株) 山梨生産部
- ⑳ バーカー熱処理工業(株) 山梨工場
- ㉑ 元旦ビューティー工業 山梨工場

【大泉エリア】

- ㉒ JMエナジー
- ㉓ MIPOX(株) 山梨工場
- ㉔ ニチレイアイス 大泉プラント
- ㉕ 光洋電子工業 大泉工場

【小淵沢エリア】

- ㉖ AOB慧央グループ
- ㉗ アルソア本社
- ㉘ ミヨシグループ
- ㉙ 日立マクセル スリオンテック事業部
- ㉚ クリスタルシステム
- ㉛ 雪印メグミルク チーズ研究所
- ㉜ シミックバイオリサーチセンター
- ㉝ 株式会社

【白州エリア】

- ㉞ コカコーラ・イーストジャパン
プロダクツ 山梨工場
- ㉟ 熊本県果実農業協同組合連合会
- ㊱ サントリープロダクツ 白州工場
- ㊲ サントリースピリッツ 白州蒸留所
- ㊳ シャトレーゼ 白州工場
- ㊴ 山梨銘醸(七賢)
- ㊵ 金精軒製菓
- ㊶ ドームファーム北杜

【武川エリア】

- ㊷ 日東樹脂工業 山梨工場
- ㊸ オキサイド

【峡北地域中核工業団地】

- ㊹ 大陽日酸(株)
開発・エンジニアリング本部 山梨研究所
- ㊺ 湘南香料 山梨工場
- ㊻ 三井農林 山梨工場
- ㊼ リガク山梨
- ㊽ 北東技研工業

● 製造業 ● 食品製造業 ● 研究・開発 ● 農業
※「元気なモノ作り中小企業300社」選定企業



人と自然と文化が躍動する環境創造都市

北杜市

〒408-0188 山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1

■お問合せは
北杜市産業観光部商工・食農課
TEL. 0551-42-1354 FAX. 0551-42-5216

北杜市への進出をご検討の際には、お気軽にご連絡ください。
北杜市進出の際にご利用いただける支援制度も各種ご用意しています。
詳細は、お問合せいただくか、市ホームページをご覧ください。

北杜市企業立地のご案内



透き通る水
静かな光

山梨県

北杜市

HOKUTO CITY

大自然のなかの北杜市。 北杜市は、世界を魅了する。

山



世界に愛される
山がある。

古くから多くの人々に名山として称えられてきた、甲斐駒ヶ岳、ハケ岳、瑞穂山、金峰山といった山々に囲まれた全国有数の美しい自然環境を誇る地域です。

紫



いのちの
つながりがある。

市面積の72%が森林の北杜市は、国産オオムラサキ生息数日本一を誇るなど、動植物の宝庫です。人々がより安全で、持続可能な社会で生活するため、生物多様性を保全する取り組みが進められています。

水



世界に誇る、
水がある。

「ハケ岳南麓高原湧水群」「白州・尾白川」「瑞穂山・金峰山源流」と3か所の名水百選を有する全国唯一の市町村。ミネラルウォーターの生産量は、日本で全国シェア3割を誇ります。

明



燦々と輝く
太陽がある。

日照時間日本一の地域特性を活用し、国のメガソーラー研究誘致に成功、今日のメガソーラーブームを牽引。クリーンエネルギーイノベーションエリアとして、今後も期待されています。

持続可能な
発展を目指す

2014年 南アルプス地域が
ユネスコエコパークに登録



南アルプス国立公園を中心とした北杜市を含む山梨、長野、静岡の10市町村に跨るエリアが2014年6月、ユネスコエコパークに登録されました。

地域の豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶと共に、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す取り組みです。

世界のユネスコエコパークの登録総数は、117か国621地域、日本では7地域目の登録です。

●北杜市概要

市長 渡辺 英子

市役所所在地
山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1

総面積
602.89km²

森林面積
441.3km²

総人口
48,428人(平成27年3月1日現在)

世帯数
20,433世帯(平成27年3月1日現在)

●沿革

平成16年11月 北杜市施行
(明野、須玉、高根、長坂、大泉、白州、武川の7町村を合併)
平成18年 3月 小瀬沢町を編入
平成18年 4月 北杜市企業交流会設立
平成19年12月 「企業立地に特色ある取組をしている市町村」選定
平成20年 6月 「平成の名水百選」選定
平成20年11月 「北杜市地域活性化ワイン特区」認定
平成20年12月 「総務大臣表彰(顕著な地方応援表彰)」を受賞
平成21年 1月 「にほんの里100選」に須玉町増富地区が選定
平成21年 6月 「新エネ百選」選定
平成23年 2月 「北杜市次世代エネルギーパーク」認定
平成23年12月 「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞(環境省)
平成24年12月 「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰受賞

全国、世界へ 向かって伸びる！

首都圏と中京圏へ好アクセス 内陸部のプラチナ拠点

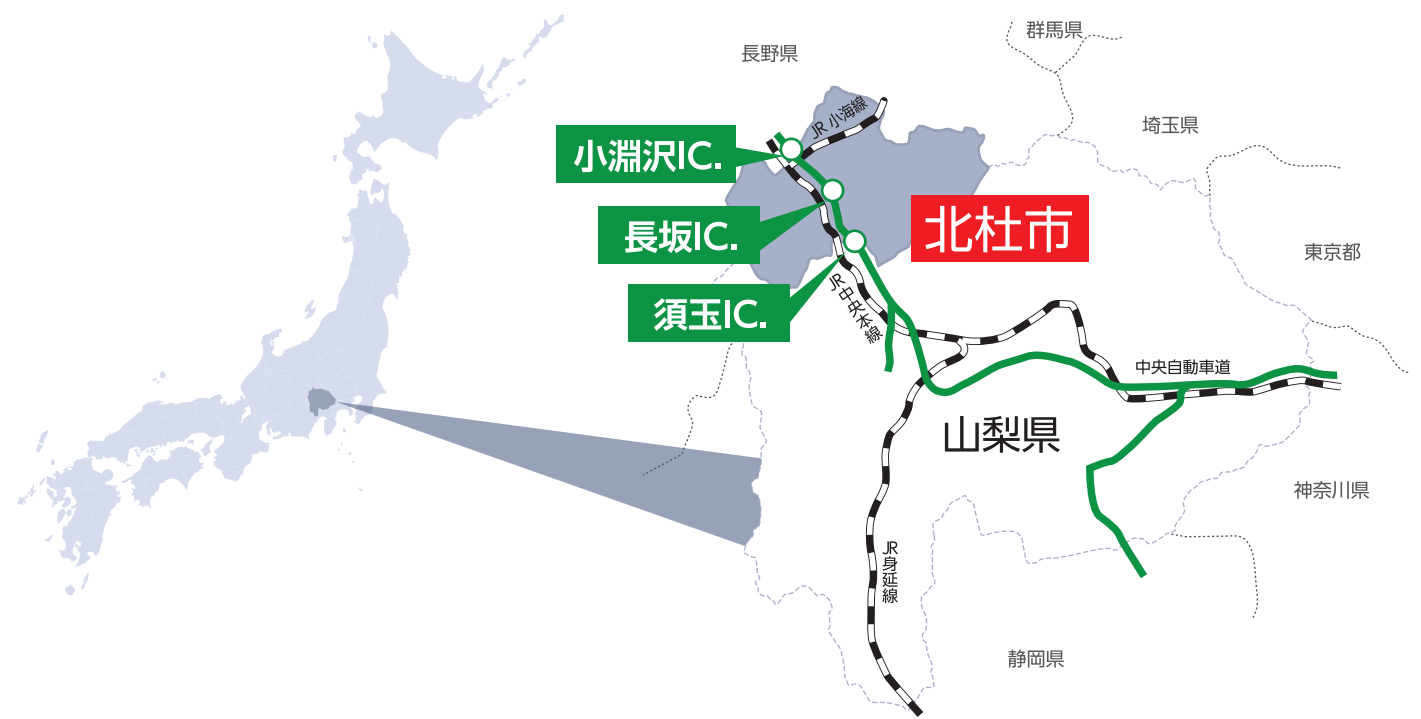
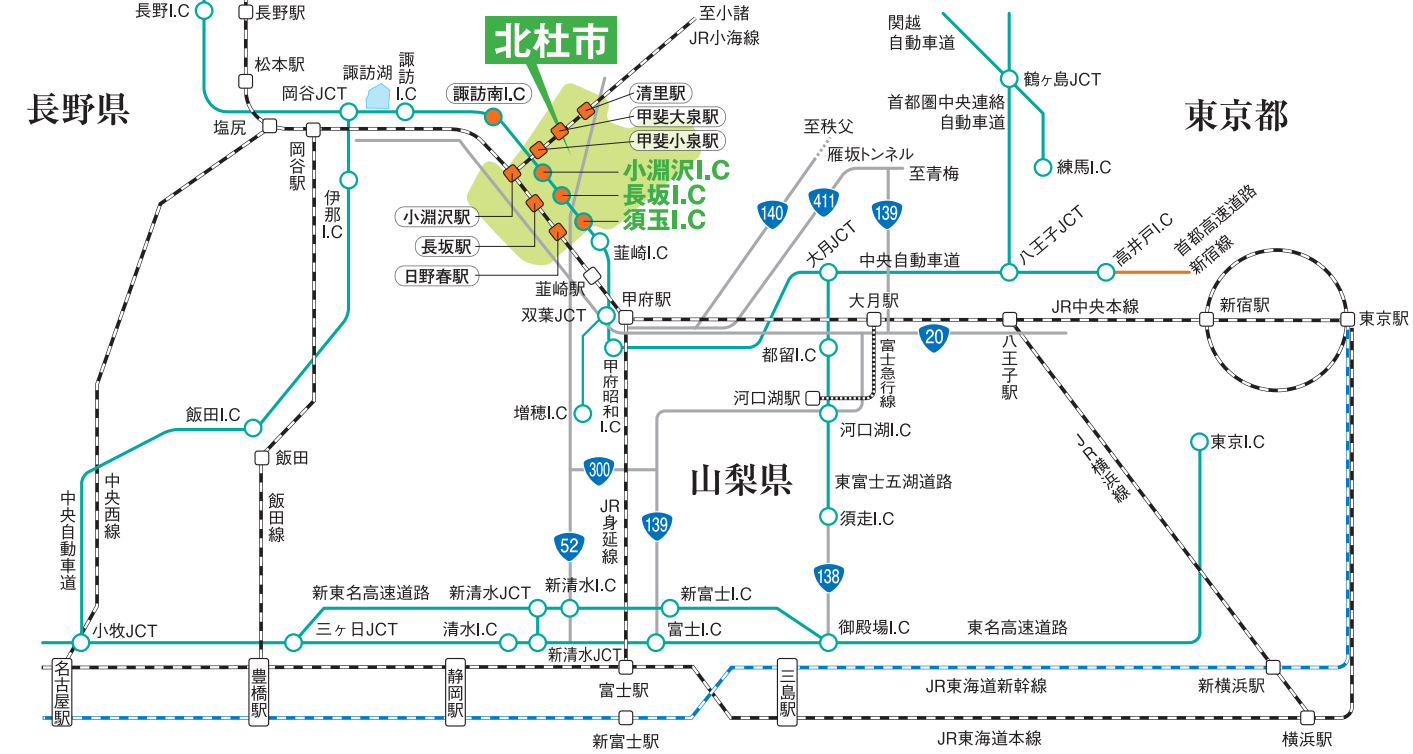
山梨県北杜市は、日本列島本州のほぼ中央、津波被害のない内陸部で首都圏と中京圏の間に位置し、車で東京まで110分、名古屋まで180分でアクセスできます。

首都圏と中京圏を結ぶ中央自動車道に加え、現在、整備、計画が進む中部横断自動車道の完成により、日本の発展を支えてきた環太平洋の生産拠点と、アジアの経済発展に伴い重要度が増している環日本海とのクロスポイントとなります。

100km圏内には、3つの産業クラスターが連なり、魅力的な企業群が集積しています。200km圏内には、多数の国際拠点港湾、拠点空港が点在し、グローバル展開の活動拠点としても好立地です。

さらに2027年開業予定のリニア中央新幹線により、沿線地域として、今後ますます魅力が広まっています。

渋滞が懸念される中央自動車道・小仏トンネル付近の混雑緩和に向けては、小仏トンネルの上り車線に並行する新たなトンネル整備に向けた動きが活発化しています。



北杜市の企業立地環境

自然に恵まれた立地環境

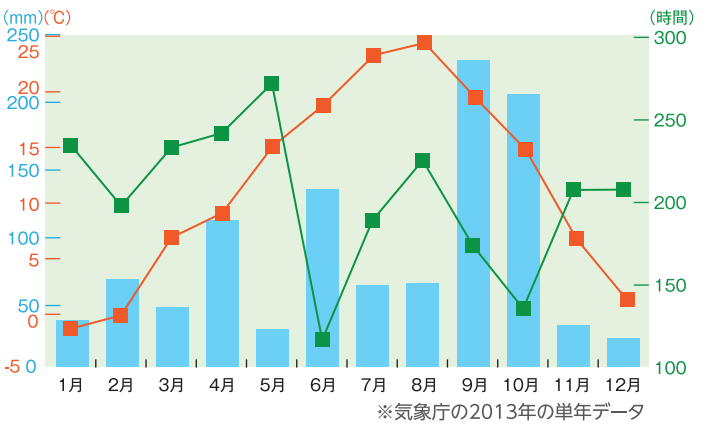
製造品出荷額では、飲料・食料品、窯業製品、はんよう機械器具が多い地域です。
特にミネラルウォーターの生産量は全国一位で、全国シェアの約3割を誇ります。
また、近年、アグリビジネスやエネルギー関連産業の進出が増加しており、豊かな自然が産業に活かされています。



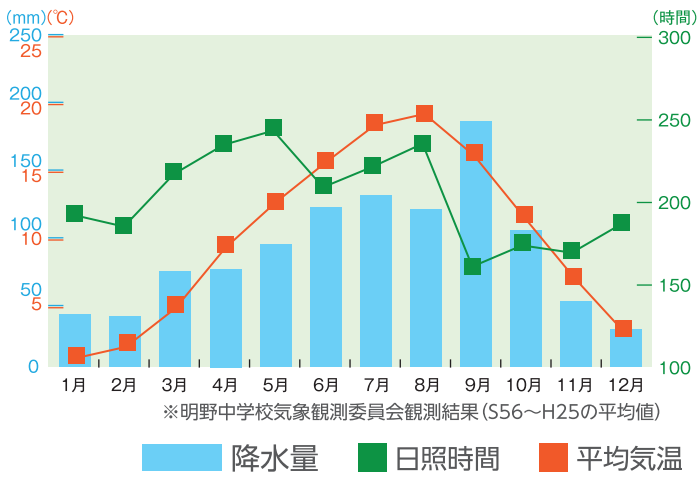
気候

北杜市は、内陸性気候で気温の年変化や日変化が大きく、降水量、湿度ともに低くなっています。中でも日照時間は日本一で年平値2,500時間を超えており、快晴日が多いのが特徴です。積雪は、小淵沢・清里などの一部の高原地域で見られるもののあまり多くありません。

●大泉地点(北緯:35°51.7' 東経:138°23.2' 標高:867m)



●明野地点(北緯:35°46.0' 東経:138°26.5' 標高:563m)

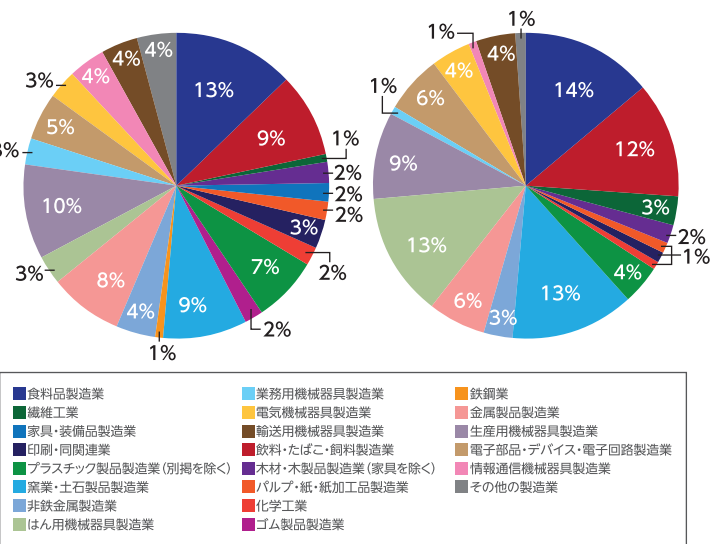


産業構造

工業(製造業、従業員4人以上の事業所)

※H24工業統計調査

- 事業所数 131所(県内5位)
- 製造品出荷額等 1,581億9,789万円(県内4位)
- 製造業業種別構成比(中分類業種)
- 従業員数種別構成比(中分類業種)



学術・開発研究機関の事業所数…4ヶ所

※H21経済センサス

農業

※2010農林業センサス

- 農家数 販売農家戸数 3,041戸 自給農家戸数 2,261戸
- 農業生産法人数 65所



商業

※H24経済センサス(卸売・小売)

- 事業所数 卸売業 47所 小売業 387所
- 従業員数 卸売業 322人 小売業 1,738人
- 年間商品販売額 卸売業 168億44百万円 小売業 267億46百万円

観光

※H26山梨県観光入込客統計調査

- 入込数 3,766,383人(県内3位)

低い自然災害リスク

繰り返す自然災害「想定外」を「想定内」へ～災害リスクを織り込んだ立地～

成長戦略の礎は、事業の継続性。
自然災害リスクの低さがBCP(事業継続計画)を支えます。



地震リスク

地震による大きな被害の発生確率の低いエリア

日本は、世界的に見ても地震による危険度が非常に高く、全国のどこでも地震によって強い揺れに見舞われる可能性があります。山梨県に被害を及ぼす地震は、主に相模、駿河、南海トラフ沿いで発生する海溝型巨大地震と、陸域の浅い場所で発生する地震です。

過去に山梨県に被害を及ぼした主な地震は、いずれも海溝型地震で1703年元禄地震(M7.9-8.2)、1923年関東地震(M7.9)、1944年東南海地震(M7.9)、1854年東海地震(M8.4)等で甲府盆地、県東部を中心に被害が発生しています。なお、歴史の資料からは、県内の陸域の浅い場所で発生した顕著な被害地震は知られていません。

北杜市においては、過去(1923～2014年)に観測された震度5弱以上の地震は、2011年東北地方太平洋沖地震の1地震のみ(震度5弱を観測)で、その際も大きな被害はほとんどありませんでした。

北杜市エリアは、日本周辺で発生した地震によって揺れに見舞われることはありますが、市周辺を震源とする地震が発生する確率は低く、かつ地震による大きな被害の発生確率の低いエリアです。



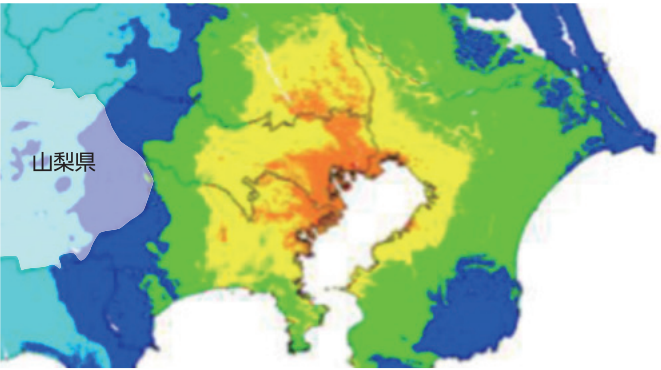
火山リスク

火山リスクの少ないエリア

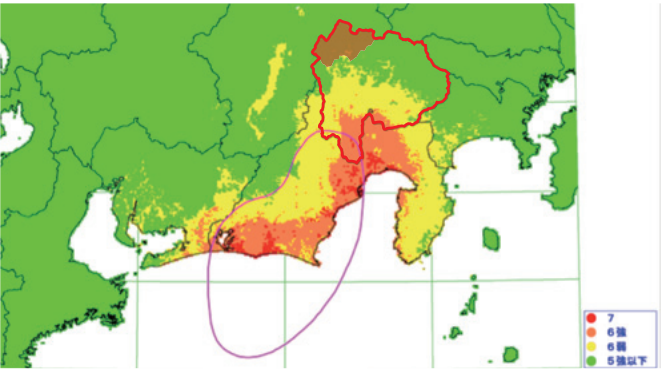
日本国内の火山で今後、比較的規模の大きな噴火が起こる可能性は%といわれています。北杜市内には火山がないため、溶岩流や火砕流による被害がありません。

戦後最悪の火山災害となった御嶽山(直線距離86km)の噴火では、若干の降灰は観測されたものの事業活動への影響はほとんどありませんでした。

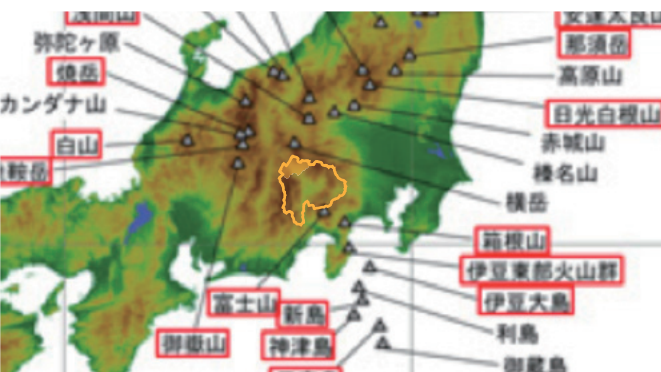
富士山山頂(直線距離53km)で宝永規模の噴火が発生した場合の降灰予測では、影響が低いエリアとなっており、火山による大きな被害の発生確率の低いエリアです。



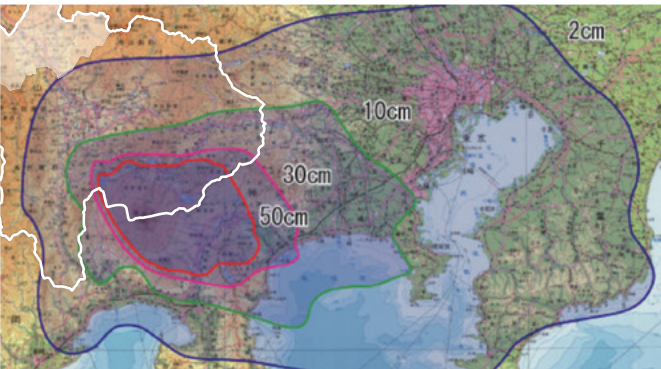
首都直下地震



東海地震



富士山噴火による降灰可能性



火山分布